



JICAME 通信

JICA カメルーン事務所
2013年3月号 第9号

★★ 3月の予定 ★★

【事業・事務所の動き】

3月6日：
・PRODERiP JCC（合同調整委員会）

3月13日：
・カメルーンドナー関係者会合

3月29日
・事務所祝日（キリスト教聖金曜日）

【人の動き】

3月6日：
捧 輝彦 専門家(PRODERiP 収穫後処理) 離任

3月13日：
惣慶 嘉 専門家(PRODERiP 総括) 離任

3月18日：
・矢部 優慈郎 所長 赴任

3月20日：
・伊藤 大悟 JV 離任 小学校教諭
・近藤 裕子 JV 離任 村落開発普及員

3月23日：
・岡村 真吾 企画調査員 離任

3月23日—4月4日：
・淵上 企画調査員 私費任国外旅行

3月25日：
・村上 博信 所長 離任

【目次】

1. カメルーン事務所 初代所長 離任のご挨拶
2. 今月のいちおしニュース
3. お疲れ様でした！

JICA カメルーン事務所 村上 博信 所長 - 離任のご挨拶 -

JICA カメルーン事務所 所長 村上 博信

2011年5月に赴任した時、カメルーン事務所はまだJICAの支所でした。ちょうど3つの技術協力プロジェクトが本格的に立ち上がるころでしたが、事務所のインフラも、事務所員数も、内規等のルールも十分ではない中での赴任でした。有馬隊員の事故の直後で交通安全対策の面でも課題がありました。家族の事情で当時単身赴任だったこともあり、今考えるとあらゆる逆境の中でのスタートだったように思います。

幸い、少数精鋭の所員やローカルスタッフに恵まれ、日々の活動に情熱をもって取り組んでくださっている専門家とボランティア（通称カメ隊）の皆さんのおかげもあり、この2年弱の間にカメルーンでのJICAの事業規模も随分と大きくなりました。また、カメルーン側、ドナー関係者を含めあらゆる方面から、関係者の皆さんの携わっている活動に高い評価の声を聞く機会が日に日に増してきているのを実感しています。

一番の心配であった関係者の皆さんの健康と安全の面でも、任期中何度か緊急移送対応がありました。大事には至らなくてほっとしているところです。

事業も拡大し、事務所体制も徐々に整ってきており、今後の中部アフリカ地域のJICA拠点としての役割がますます期待されている中で、離任することになりますが、今後はカメルーンを身近に感じる一サポーターとして、またJICAME通信の一読者として、応援させていただこうと思っています。

皆さんの引き続きのご活躍とご健康をお祈りしております。



☆今月のいちおしニュース☆

落合真隊員作成の映像及び記事が、TICAD アフリカポータルサイト『アフリカひろば』に掲載されました！

世界でも類を見ない高山マラソン「カメルーン山マラソン」が実施されました！

カメルーン「生活情報」が公開されました！

「アフリカ広場」掲載内容は下から見るができます。
是非ご覧ください！

☆アフリカチャンネル☆

「カメルーンのお祭り「ンゴン祭り」(映像)

<http://ticad.net/africa/movie/index.html>

☆気になるアフリカ☆

「カメルーン西部州フンバン、2年に一度のお祭り“NGUON”」

<http://ticad.net/africa/report/index.php?id=19>

東京マラソンの1週間前にカメルーンの地方都市「ブエア」で行われた、カメルーン山マラソン。高さ4095mのカメルーン山を一気に駆け上がり、頂上で折り返して急な斜面を駆け下りる。走破距離は、フルマラソンとほぼ同じ距離。およそ半数の選手が完走できずに脱落する、過酷なレースである。

この過酷さ及び緊急時の安全対応が取れないことから、JICA カメルーン事務所では、同マラソンへの参加は勧めていない。しかしながら、テレビ中継も行われるカメルーンの一大会でもあり、今年は3名の日本人が参加した。

皆が無事を祈る中、見事3名とも完走し、関係者一同胸をなでおろした。



カメルーン初の「生活情報（初版）」が作成され、以下のサイトに公開されました。

<http://www.jica.go.jp/regions/seikatsu/africa.html>

この「生活情報」は総容量2.32MBで、盛りだくさんの内容になっています。カメルーンにて長期滞在される方は、是非一度目を通していただくと幸いです。

また、本件作成にご尽力いただいた、吉田陽一専門家にこの場を借りてお礼申し上げます。

お疲れ様でした！

	<p>氏名：岡村 真吾 役職：企画調査員（企画） 3月23日離任</p>	<p>2011年3月末、まだカメルーン支所（現カメルーン事務所）であった時代に企画調査員（企画）として赴任し、1回の延長を経て、ちょうど2年間の任期が終了しようとしています。</p> <p>カメルーン国の発展に貢献するためにご赴任いただいている専門家の方々にとって、「業務を円滑に進めやすい環境」を目指し、日々の業務に取り組んで参りました。</p> <p>微力なため、どこまで貢献できたかどうかは甚だ疑問ですが、ご協力、お付き合いいただいた皆様に感謝いたします。2年間、本当にありがとうございました。</p>
	<p>氏名：伊藤 大悟 指導科目：小学校教諭 任地：ングレマコン 3月20日離任</p>	<p>赴任してから2年、あっという間に時間が過ぎてしまった気がします。</p> <p>振り返ってみると、本当にいろいろなことがありましたが、全体として、活動や送別会などで、とっても充実した日々を過ごせたと思います。</p> <p>それも、支えてくださった事務所の方や、一緒に過ごしてくれたボランティアの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。みなさんがそれぞれの任期を全うし、無事に帰れることを祈っています。</p>
	<p>氏名：近藤 裕子 指導科目：村落開発普及員 任地：ングクサ 3月20日離任</p>	<p>おかげさまで任期を終え日本に帰国することになりました。</p> <p>二年間の初めから終わりまで本当に多くの方々に支えられていたのだと、終わりを迎えて実感しています。</p> <p>活動が上手くいかなかった時も、ボランティア間での催しでも、私生活においても、隊次や職種を超えて相談に乗ってもらったり、励ましをいただいたことを思い出します。この二年間大変お世話になりました。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

JICAME 通信へのお問い合わせは以下までお願いします。

お問い合わせ先：ca_oso_rep@jica.go.jp カメルーン事務所ホームページ：<http://www.jica.go.jp/cameroon/office/index.html>